

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	西平井・緒ヶ崎地区公園施設新設事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	小島 敏明			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	西平井・緒ヶ崎地区内の公園等利用者	意図	土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園等の整備を行い良好な環境整形に資する。
事業内容	西平井・緒ヶ崎地区内の公園緑地を整備し、身近に憩い安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民の公園に対する要求が高度化している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	西平井緑道整備		125	0	m	↓↓↓	緑道の整備延長	
	公園緑地整備			9,170	m ²	↑↑↑	公園緑地の整備面積	
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 西平井・緒ヶ崎地区の西平井4号公園の整備を行った。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			17,882,900	51,656,100				
事業費(b)(円)			14,450,400	48,300,100				
うち一般財源			14,450,400	48,300,100				
職員給与費(c)(円)			3,432,500	3,356,000				
人役・職員(人)			0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	区画整理事業施行者と連携を図り良好な住環境を創出する。	取組の課題	区画整理事業の進捗に合わせた公園緑地の整備が求められている。
今年度(H29)に実施した取組	区画整理事業者と連携を図り、街区公園の整備を行った。	今後の改善計画	区画整理事業の進捗に合わせ、計画的な公園緑地整備を行う。